



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月2日

上場会社名 株式会社 エヌアイデイ 上場取引所 東  
コード番号 2349 URL <https://www.nid.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小森 俊太郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレートデザイン 本部長兼財務部長 (氏名) 小菅 宏 TEL 03 (6221) 6811  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（動画配信）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	10,554	11.4	1,225	15.2	1,390	20.2	926	△8.8
2023年3月期第2四半期	9,478	10.6	1,064	12.6	1,156	5.7	1,014	40.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,100百万円 (12.8%) 2023年3月期第2四半期 976百万円 (34.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	83.79	—
2023年3月期第2四半期	91.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	24,693	18,435	74.7	1,687.35
2023年3月期	24,020	17,911	74.6	1,612.81

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 18,435百万円 2023年3月期 17,911百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	26.00	26.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 24円00銭 記念配当 2円00銭

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	2.7	2,600	2.2	2,840	3.5	1,970	△10.9	180.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	13,109,490株	2023年3月期	13,109,490株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,183,853株	2023年3月期	2,003,853株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	11,052,522株	2023年3月期2Q	11,105,709株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行もあり、社会・経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方、ウクライナ情勢の長期化、物価上昇、世界的な金融引き締めによる景気後退懸念等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス業界では、業務プロセスのデジタル化、ビジネスプロセスそのものを変革するDX化等の需要が底堅く、IT投資は堅調に推移いたしました。

このような環境の下、当社グループでは、顧客の多様なニーズに対応するべく、開発手法の調査・研究、技術者教育や新卒・キャリア採用の強化等に取り組んでまいりました。

このような取組みの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、その他事業において減収減益となったものの、堅調なIT投資により、システム開発事業、システムマネジメント事業が好調に推移した結果、売上高は10,554百万円（前年同四半期比11.4%増）、営業利益は1,225百万円（同15.2%増）、経常利益は1,390百万円（同20.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は926百万円（同8.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①システム開発事業

金融・保険、情報・通信、FA・装置制御等の分野の売上が増加した結果、売上高は7,205百万円（前年同四半期比15.3%増）となりました。利益面では、売上の増加に加え、一部案件の採算性の改善等により営業利益は900百万円（同26.8%増）となりました。

#### ②システムマネジメント事業

運輸・通信、金融・保険、建築・製造等の分野の売上が増加した結果、売上高は2,567百万円（同6.6%増）となりました。利益面では、システム開発事業同様に売上高の増加に加え、一部案件の採算性改善等により営業利益は250百万円（同11.3%増）となりました。

#### ③その他

その他には、データソリューション事業、プロダクト事業、人材派遣事業を分類しております。

このうち、人材派遣事業の売上・利益が増加したものの、データソリューション事業、プロダクト事業の売上・利益が減少した結果、売上高は780百万円（同4.6%減）、営業利益は71百万円（同43.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金並びに仕掛品の増加、売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ561百万円増加し17,437百万円となりました。固定資産は投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ111百万円増加し7,255百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ673百万円増加し、24,693百万円となりました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、買掛金及び賞与引当金の増加等により、前連結会計年度末に比べ84百万円増加し3,087百万円となりました。固定負債は退職給付に係る負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ64百万円増加し3,170百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ148百万円増加し、6,257百万円となりました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ524百万円増加し18,435百万円となりました。

この結果、自己資本比率は74.7%（前連結会計年度末は74.6%）となりました。

## &lt;キャッシュ・フローの状況&gt;

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ327百万円増加し、12,714百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は886百万円（前年同四半期比46百万円の収入減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,390百万円、売上債権の減少額95百万円等で資金が増加したことに対し、棚卸資産の増加額304百万円、法人税等の支払額526百万円等で資金が減少したことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は17百万円（前年同四半期は45百万円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入408百万円等で資金が増加したことに対し、投資有価証券の取得による支出353百万円等で資金を支出したことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は577百万円（前年同四半期比315百万円の支出増）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出287百万円、配当金の支払額287百万円等で資金を支出したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績動向等を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました通期の予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2023年11月2日)公表の「第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,049,487	13,377,861
受取手形	99,824	204,718
売掛金	3,416,640	3,216,710
仕掛品	147,453	451,952
その他	161,928	186,031
流動資産合計	16,875,335	17,437,274
固定資産		
有形固定資産	328,817	302,016
無形固定資産	345,908	323,930
投資その他の資産		
投資有価証券	4,992,906	5,223,995
繰延税金資産	968,446	891,227
差入保証金	354,127	356,407
その他	154,465	158,287
投資その他の資産合計	6,469,944	6,629,917
固定資産合計	7,144,670	7,255,864
資産合計	24,020,006	24,693,139
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	587,392	628,266
未払金	350,464	350,067
未払法人税等	568,346	495,936
未払消費税等	308,823	190,958
前受金	1,155	55
賞与引当金	931,757	968,723
その他	254,655	453,362
流動負債合計	3,002,594	3,087,369
固定負債		
退職給付に係る負債	2,484,080	2,548,570
役員退職慰労引当金	556,987	569,887
資産除去債務	49,109	49,528
その他	16,001	2,402
固定負債合計	3,106,178	3,170,389
負債合計	6,108,773	6,257,758
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	17,760,317	18,397,647
自己株式	△1,587,797	△1,875,617
株主資本合計	17,314,547	17,664,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	584,855	754,989
退職給付に係る調整累計額	11,830	16,334
その他の包括利益累計額合計	596,685	771,323
純資産合計	17,911,232	18,435,380
負債純資産合計	24,020,006	24,693,139

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	9,478,044	10,554,183
売上原価	7,313,745	8,106,506
売上総利益	2,164,299	2,447,677
販売費及び一般管理費	1,100,030	1,222,036
営業利益	1,064,268	1,225,641
営業外収益		
受取利息	5,732	5,615
受取配当金	77,667	83,938
投資有価証券売却益	7,534	—
投資有価証券償還益	—	35,365
助成金収入	3,252	28,655
その他	5,454	17,037
営業外収益合計	99,641	170,613
営業外費用		
支払利息	570	552
投資事業組合運用損	2,042	754
投資事業組合管理料	1,387	522
租税公課	1,373	832
為替差損	1,371	—
その他	969	3,368
営業外費用合計	7,715	6,031
経常利益	1,156,193	1,390,223
特別利益		
固定資産売却益	2,290	—
投資有価証券売却益	341,845	—
特別利益合計	344,136	—
特別損失		
固定資産除却損	323	98
特別損失合計	323	98
税金等調整前四半期純利益	1,500,007	1,390,124
法人税等	485,047	464,048
四半期純利益	1,014,959	926,076
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,014,959	926,076
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,425	170,134
退職給付に係る調整額	2,660	4,503
その他の包括利益合計	△38,764	174,638
四半期包括利益	976,194	1,100,714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	976,194	1,100,714
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,500,007	1,390,124
減価償却費	57,476	52,582
のれん償却額	—	24,330
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13,956	71,028
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13,550	12,900
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,041	36,966
受取利息及び受取配当金	△83,399	△89,554
支払利息	570	552
投資有価証券売却損益 (△は益)	△349,380	—
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	△35,365
固定資産売却損益 (△は益)	△2,290	—
固定資産除却損	323	98
売上債権の増減額 (△は増加)	445,361	95,036
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△209,114	△304,425
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△12,151	△32,418
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,233	40,874
未払金の増減額 (△は減少)	△52,445	4,168
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△25,819	△117,865
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	37,839	185,727
その他	8,448	△10,582
小計	1,393,206	1,324,177
利息及び配当金の受取額	83,369	89,541
利息の支払額	△570	△552
法人税等の支払額	△542,948	△526,324
営業活動によるキャッシュ・フロー	933,056	886,841
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△0
投資有価証券の取得による支出	△623,127	△353,529
投資有価証券の売却及び償還による収入	604,851	408,768
有形固定資産の取得による支出	△14,159	△8,253
有形固定資産の売却による収入	2,290	—
無形固定資産の取得による支出	△13,298	△25,554
差入保証金の差入による支出	—	△2,342
差入保証金の回収による収入	112	62
その他	△1,837	△1,837
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,169	17,312
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	360,000	360,000
短期借入金の返済による支出	△360,000	△360,000
自己株式の取得による支出	△53	△287,820
配当金の支払額	△254,953	△287,999
その他	△6,476	△1,254
財務活動によるキャッシュ・フロー	△261,483	△577,073
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	626,403	327,080
現金及び現金同等物の期首残高	11,783,346	12,387,759
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,409,750	12,714,839



## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	システム開発事業	システムマネジメント事業	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	6,252,310	2,407,385	818,347	9,478,044
セグメント間の内部売上高又は振替高	885,109	113,484	417,247	1,415,841
計	7,137,420	2,520,870	1,235,595	10,893,886
セグメント利益	710,633	225,444	126,032	1,062,110

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,062,110
セグメント間取引消去	2,994
全社費用（注）	—
その他	△836
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,064,268

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	システム開発 事業	システムマネ ジメント事業	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	7,205,809	2,567,419	780,953	10,554,183
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,106,425	111,165	348,390	1,565,981
計	8,312,235	2,678,585	1,129,344	12,120,165
セグメント利益	900,898	250,960	71,067	1,222,926

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,222,926
セグメント間取引消去	2,982
全社費用（注）	—
その他	△267
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,225,641

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。